

第4学年国語科学習指導案

日 時 平成22年6月24日(木)6校時
児 童 男子7名 女子6名 計13名
指導者 教諭 大鷹 真

1 単元名 本と友達になろう

教材名 白いぼうし(文学的文章)

2 単元について

(1) 児童について

児童はこれまでに、第3学年では「きつつきの商売」「ちいちゃんのかげおくり」「モチモチの木」、第4学年では「三つのお願い」などの文学的文章を教材に「読むこと」の学習を進めてきた。これらの教材を通して、児童は「登場人物」「出来事」「場面」などを押さえたり、言葉の使われ方や使い方に着目したり、語と語のつながりに注意したりしながら、読む学習を進めてきた。話の展開や登場人物の気持ちを読み取る力も徐々に付いてきている。

しかし、場面や人物の様子について、叙述を基に、その変化をとらえながら、情景や心情を想像して読んだりする力は十分とは言えない。

そこで、本単元では、「C 読むこと」(2)の①「ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。」ができるようになることを目標に設定する。登場人物の人柄を考えたり、様子を表す言葉に目を向け情景を豊かに想像したりしながら読むことで、児童一人一人の読む力を高めていきたい。

(2) 教材について

「白い帽子」は現実と非現実が交錯する不思議な世界を描いたファンタジー作品である。思いやりや優しさが浮かび上がる叙述の中で、タクシー運転手の松井さんと、擬人化されたちょうの心の交流を軸に物語が展開される。また、「夏みかんのにおい」や「もんしろちょうの白」「並木の緑」など、嗅覚や色彩をイメージする言葉が多く取り入れられ、情景が豊かに描写されている。本単元は読書単元であり、作品のおもしろさに児童が浸ること、そして、フィクションの世界を想像豊かに読むことに主眼がおかれる。そのおもしろさをより感じ取らせるため、登場人物の言動から人柄を推測したり、色やにおいからさわやかなイメージを感じたりする読み方を身に付けさせたい。本教材はその指導を行うのに適した教材であると考えられる。

(3) 指導について

本単元では、情景描写や人物描写に気を付ける読み方を知り、作品をより楽しみながら読み深めることで、いろいろな本を読もうとしたり、友達に伝えようとする意欲につなげていくことを目標とする。

指導に当たって、第一次では、単元のゴールとして「おすすめの本」カードを作ることを知らせる。実物を提示することによって興味や意欲を喚起するとともに、どんな項目をカードに記入すればよいかを確認させ、それに沿った読み取りを行うことを課題に設定し、今後の学習の見通しをもたせていく。中心人物の人柄や紹介したい情景描写を項目として押さえる。

第二次では、松井さんの言動に着目してその人柄について読み取ったり、色やにおいを想像させる言葉を基に、場面の情景を想像しながら読み取ったりする活動を行う。その際、読み取りに関わる大事な語や文にサイドラインを引かせたり考えを書き込ませたりする。

第三次では、それぞれが考えた女の子の正体について交流するとともに、本教材「白いぼうし」の紹介カードを全体で作成することで、学習のまとめを行う。

第四次では、教科書「本は友達」を読んだり図書室の新刊紹介を参考にしたりしながら自分が読みたい本を探して読む。その際、同一シリーズの作品や「あまんきみこ」さんのあまり読まれていない作品の紹介なども行い、読みたい本の見つけ方についても触れる。読んだ本を題材に「お

「おすすめの本」カードを作る。カード作成の際には、本単元で取り組んだ学習が活かされるよう留意していく。また、単元を通した振り返りを行い、自分ができるようになったこと、新たに分かったこと、これから課題にしたいことを明確にし、児童に意識付けていく。

3 単元の目標

- 物語を楽しみながら読み、いろいろな本を読むとともに、友達に紹介しようとしている。(関心・意欲・態度)
- 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むことができる。(読むこと)
- 目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むことができる。(読むこと)
- 指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うことができる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

4 単元の指導計画と評価規準(16時間)

次	指導目標	時	主な学習活動	指導事項と言語活動	評価規準
第一次	・学習の見通しをもち、計画を立てることができる。	1	○全文を読む。 ○「おすすめの本」カードを作ることを知り、学習の課題をもつ。 ○「おすすめの本」カードに書き入れる内容を考える。	読カ ○多様な目的に応じていろいろな分野の本や文章を読む。 カードに記入する項目を決める	プロフィール・心に残る景色など、カードに必要な項目を考えている(関心・意欲・態度)
	・大まかな話の筋をつかみ、学習の課題をもつことができる。	2	○物語の大まかなあらすじをつかむ。 ○4つの場面に分ける。	読ウ ○場面と場面とを関係付けて読む。 あらすじをつかみ場面分けをする	あらすじを(登場人物、中心人物、時、場所、出来事、一番変わったこと)書いている。(読むこと)
第二次	・松井さんの人柄について、叙述を基に想像しながら読み取ることができる。	3	○1・2場面を読み、人柄が分かる行動や会話文にサイドラインを引く。 ○松井さんの人柄について叙述を根拠に話し合う。	読ウ ○フィクションによる世界が描かれている物語や詩の世界を想像力を働かせて読む。 人柄が分かる文にサイドライン・書き込み	松井さんの行動や会話文を根拠にして人柄を読み取っている。(読むこと)
		4 本時	○3・4場面を読み、人柄が分かる行動や会話文にサイドラインを引く。 ○松井さんの人柄について叙述を根拠に話し合う。 ○プロフィールを記入する	読ウ ○フィクションによる世界が描かれている物語や詩の世界を想像力を働かせて読む。 人柄が分かる文にサイドライン・書き込み プロフィール作り	松井さんの行動や会話文を根拠にして人柄を読み取っている。(読むこと)
	・色やにおいなどの言葉を基に、場面の情景を想像しながら読み取ることができる。	5	○1・2場面を読み、色を表したり、においを想像させたりする言葉にサイドラインを引く。 ○サイドラインの言葉を根拠にしなが、どんな場面が	読ウ ○フィクションによる世界が描かれている物語や詩の世界を想像力を働かせて読む。 色・においを表す文にサイドライン・書き込み	色やにおいを想像させる言葉から場面を想像している。(読むこと)

			想像できるか話し合う。		
		6	○3・4場面を読み、色を表したり、色を想像させたりする言葉にサイドラインを引く。 ○サイドラインの言葉を根拠にしなが、どんな場面が想像できるか話し合う。	読ウ ○フィクションによる世界が描かれている物語や詩の世界を想像力を働かせて読む。 色・においを表す文にサイドライン・書き込み	色やにおいを想像させる言葉から場面を想像している。(読むこと)
第三次	・言葉や表現に気を付けて読み、自分の考えをまとめて発表できる。	7	○女の子の正体は何だったのかについて、自分の考えを書く。 ○女の子の正体について、根拠を示しながら話し合う。	読オ ○文章を読んで考えまとめたことを発表し合い、互いの感じ方や考え方の違いに気付く。 意見交流	女の子がちょうどと暗示している表現を見つけて話し合いに参加している。(読むこと)
		8	○「白いぼうし」の「おすすめの本」カードを一人一人作る。 ○作ったカードの内容を交流する。	読エ ○自分の考えをまとめるために、引用したり要約したりする。 「おすすめの本」カード作り	学習したことを生かし、カードを書きまとめている(読むこと)
第四次	・読みたい本を探して本を読み、自分なりに「おすすめの本」カードを書きまとめることができる。	9	○図書館での本の探し方を知る。	読カ ○多様な目的に応じていろいろな分野の本や文章を読む。 読みたい内容や書き手を絞って本を探し、読む	紹介する際の視点をもちながら読み進めている(読むこと)
		10	○読みたい本を探し、読む。		
		11	○要約したり引用したりプロフィールを記入したりしながら、「おすすめの本」カードを作る。	読エ ○自分の考えをまとめるために、引用したり要約したりする。 「おすすめの本」カード作り	読みの視点を生かし、自分で項目を決めながら書きまとめている。(読むこと)
		12	○作った「おすすめの本」カードを紹介する。	読オ ○文章を読んで考えまとめたことを発表し合い、互いの感じ方や考え方の違いに気付く。 発表会	友達の発表を聞き、新たに本を読みたいという意欲をもっている。(読むこと)
13	○単元を振り返り、できるようになったこと、次回への課題を書く。				
14					
15					
16					

5 本時の指導(4/16時間)

(1) 目標

松井さんの人柄について、叙述を基に想像しながら読み取ることができる。(読むこと)

(2) 具体の評価規準

A	B	指導の手だて
他の人との違いを明らかにしながら、松井さんの行動や会話文を根拠にして、人柄を読み取っている。	松井さんの行動や会話文を根拠にして、人柄を読み取っている。	松井さんの会話や行動を表す文を一緒に探す。また、どんなことが分かるかを一緒に考える

(3) 本時の指導事項

本時は、想像力を働かせながら松井さんの人柄を読み取っていくことが目標である。指導事項である想像力を働かせるとは、ただの思いつきではなく、叙述からその根拠を見つけ出していかなければならない。

本時はまず、松井さんのプロフィールを作ることを課題に設定する。プロフィールに「松井さんは〇〇〇な人」と記入することを伝え、そのためには人柄を読み取っていけばよいこと、そして、言動に着目することで人柄を想像できることを確認していく。

一人一人の読み取りでは、言動を見つける際にサイドラインを引かせ書き込みをさせていく。

その後、全体でそれぞれの読み取りを交流する。全体で交流した後、学習のまとめとして、プロフィールに松井さん像を記入させる。サイドライン・書き込み、プロフィール作りという言語活動を通して、指導事項を効果的に取り入れ、本時の目標の達成につなげたい。

(4) 展開

段階	学習活動と主な発問・予想される児童の反応等 主な発問 (○) 児童の反応 (・)	評価・留意事項 評価 (*) 留意事項 (・)
つかむ 7	1, 学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">松井さんのプロフィールを作ろう。</div> 2, 学習場面を音読する ・ 3, 4 場面を音読する	<ul style="list-style-type: none"> ・プロフィールを作ることで、松井さんの人柄を読み取りを確認させる。 ・松井さんの言動に着目すればよいことを確認する。 ・ペア音読し、読み違いがないよう聞き合いながら音読を進める。
さぐ 15	3 松井さんの人柄が分かる行動や会話文にサイドラインを引いて書き込みをする。 ・ええと、どちらまで ・あの子は、どんなに目を丸くしたろう。 ・おどろいたろうな ・ひとりでに笑いがこみ上げてきました。	<ul style="list-style-type: none"> ・人柄や性格を表す言葉の例文を準備し、利用させる。
ふかめる 15	4 松井さんの人柄について話し合う。 ○どの表現から、松井さんのどんな人柄が読み取れましたか。 ・「ええと、どちらまで」から、子どもにも優しい人だと思います。 ・「あの子は、どんなに目を丸くしたろう。」から、いたずら好き。 ・「おどろいたろうな・・・」というところから、いたずら好き。 ・ひとりでに笑いがこみ上げてきました、からいたずら好きだと思いました。	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ箇所から異なる読み取りがあることも認め、いろいろなとらえ方があることを確認する。 <p>*松井さんの行動や会話文を根拠にして人柄を読み取っている。(書き込み)</p>
まとめ	5 松井さんのプロフィールを作り、人柄について書きまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・松井さんはやさしい人 なぜなら・・・ ・松井さんはしんせつな人 なぜなら・・・ </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・松井さんの人柄を確認するとともに、人柄を読み取る際の視点も確認する。
6	本時の学習をまとめる	

る	<p>7 本時の学習を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> 松井さんの行動に気を付けて人柄を考慮することができた。 <p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> 会話に目を付ければ人柄を考えられることが分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 感想に加え、課題に対する自分の取り組みの達成感や、課題解決の際の手立てについて気付いたことなどに触れさせる。
---	--	--

(5)板書計画

松井さんは

しろいぼうし

あまんきみこ

松井さんのプロフィールを作ろう。

人から 行動

会話文

「ええと、どちらまで」

- 子どもにもやさしい人。

「あの子は、どんなに目を丸くしただろう。」

- おちやめな人

「おどろいただろうな、まほうのみかんと思っかな。何しろ、ちやうがばけたんだから。」

- ユーモラスな人

「ふふふっ。」

ひとりでに笑いがこみ上げてきました。

- 子どもっぽい人

プロフィールに書くこと

松井さんは